

渡辺ハウジングOBの皆様と
来客のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



桜のあとを追うように、色とりどりの様々な花が咲き競う美しい季節を迎えました。

まさに春を実感する頃ですが、如何お過ごしでしょうか？

コロナの感染力がやっと衰え、窮屈だった生活から少しは解放されましたが、これからも穏やかな日常のありがたみを忘れずに過ごしたいと思います。

新年度がスタートし、何かとお忙しいことと思いますが、お身体大切にお過ごしください！



快適な生活をするために（7）

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただくための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェックポイントなどをお伝えしたいと思います。

【キッチン（火災）】

ガスコンロの周りには、紙類・油缶など引火の原因になるような物を置かないよう気をつけて下さい。揚げ物の最中に電話や来客があったときは、必ず火を止めてから離れるようにして下さい。

万一のため、キッチンには消火器を一本備えましょう。



【ガス（火災・中毒）】

ガス器具使用時の換気・消し忘れなどにご注意下さい。ガスの引き込み管の埋設位置は必ず確認して下さい。特に、後から工事を行う場合には注意が必要です。

【台所】

台所は日々の炊事に使用され、水はね・油はね・煙などにさらされます。住居の中で最も汚れやすい部分ですが、衛生面からは一番清潔さを保たなくてはならない所ですので、こまめにお手入れを。

【換気扇】

換気扇は取り外しができるので、時々は掃除をして下さい。

換気扇は煙や臭いを消すだけでなく、部屋の換気装置にもなりますので調理をしていないときでも、時々回すようにしましょう。



【流し台まわり】

毎日の汚れは、その日のうちに落としましょう。

ステンレス製のものは、使用後に全体を洗い流して、水気を残さないように拭き取って下さい。

ステンレスの上に、鉄製の包丁・缶・瓶などを長いこと放置するとサビが発生することがありますが、その時は、ステンレス用クリーナーで磨いて下さい。人工大理石の上に熱したお鍋など直に置かないで下さい。焦げ跡が残ることがあります。

【ガスコンロ】

ガスコンロの汚れは、油分を含むことが多いので、時間が経つとこびりついて取れにくくなります。油はねや吹きこぼれは、早めに拭き取ることを心がけて下さい。

五徳は、コンロからはずして洗って下さい。

また、ガスバーナーは、目詰まりしないように、時々バーナー専用ブラシで磨いて下さい。

次号に続く

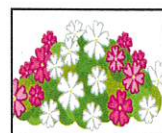
「芝桜」

北アメリカ原産のハナシノブ科の多年草。

茎は横に這うように広がり、春には赤やピンク、白、紫などの小さな花を咲かせます。芝のように低く広がり、花の形が桜に似ているので「芝桜」と呼ばれます。日当たりと水はけのよい場所を好み、寒さにも強く、多年草なので毎年花を楽しむことができます。

株いっぱいにつが花つき、満開ともなると花の絨毯を敷き詰めたようになるので、色違いの花を組み合わせて花畑に絵を描いたり、グランドカバーとして土手などに植えたりと広く利用されています。

また、自宅の花壇やプランターなどで楽しむこともできます。



〇〇ちゃん、元気ですか？



今年は、やっとコロナの感染力が衰えたということで、卒業式が行われた学校も多かったようです。子どもたちはもちろん、先生や父兄の皆さんにとっても子どもの成長を見守る節目の行事なので、できることなら以前のように、どの学校でも開催されるといいですね。

この時期になると思い出すという話を聞きましたので、ご紹介しますね。

私が小学生の頃の話です。同じクラスに、補聴器をつければ普通学級でも問題ない程度の軽い難聴の女の子がいました。彼女は、すごく内気でおとなしい子でした。虐められこそしなかったけれど、特別仲の良い友達もいなかったように思います。

ある時、学校の行事で私たちのクラスは歌に合わせたダンスをすることになったのです。

みんなで「あーでもない、こうでもない」と振り付けを模索していた時、誰かが「そういえば〇〇ちゃん(難聴の子)って手話ができるじゃん。それを参考にしたらどう？」と言い出し、みんなで「手話見せてよ！」と言いながら〇〇ちゃんの周りに集まったのです。

最初、彼女はかなり戸惑っていたが、みんなの思いに負けていろいろな手話を披露してくれました。

「すごーい！」

「いろんな動きがあるんだねー」と、みんな驚きながらも感心し拍手、拍手。



みんなであれこれ相談し、行事では手話をとり入れたダンスをすることになりました。

その結果、先生たちには褒められ、他の子たちも手話自体に興味を持ち始め、とうとう学校で手話クラブができるほどのブームになったのです。

それ以降、「手話の先生」というあだ名がついた〇〇ちゃんは、よく笑うようになりそれまでの彼女とは別人のようにすごく明るくなりました。

そして、卒業式を迎えた時、卒業証書をもらうために壇上に上がった〇〇ちゃんは、急に止まって、泣きながら、

「みんな、ありがとう。みんなのおかげでとっても楽しかった。私は違う中学に行くけど、この学校でのことは一生忘れません」と、たどたどしい言葉と手話で、みんなに向かって言ってくれたのです。

もうクラス中の女の子は泣くし、ハンカチで涙をふく校長先生や他の先生たち、そして大勢の保護者まで涙、涙。



卒業後は直接会う機会はないものの、ずっと年賀状のやり取りは続けていました。

そんな彼女から、ある日結婚式の招待状が届いたのです。

本当に久しぶりの再会でしたが、花嫁姿の幸せそうな彼女の笑顔は、今も私の心に残っています。

最近では、全く会う機会がないまま長い時間が過ぎましたが、〇〇ちゃん、元気ですか？

「編集後記」

4月、新しいランドセルを背負った可愛い子どもたちの姿を見かけるようになりました。

嬉しさと緊張が混じった表情の子どもたちですが、新しい環境に慣れるまで、周囲で温かく見守りましょう。

頑張れ、新1年生！

そろそろ、マスクが息苦しくなるような時期を迎えますが、まだ外せない、外したくない、といった声も聞かれます。マスクは嫌！と思っていたのに・・・みなさんは？周囲に配慮しつつ、其々気をつけてお過ごしください！今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子